

市民活動紹介

令和7年度市民活動感謝状の受賞者 vol.2

☎ 市民活動推進課 ☎ (93) 1117

活動団体

2月5日、市内で市民活動を実践している団体や個人に感謝の意を表し、3団体、個人1人、3事業者に感謝状を贈呈しました。

市民活動とは、地域の防犯活動や環境美化活動など、公益の増進に寄与することを目的とする市内で行われる自主的な社会貢献活動です。今回は、受賞された3団体を紹介します。

とみさとトイズクラブ

☎ 090 (5996) 2941

趣味で開いた交通模型の展示会をきっかけに、平成25年に団体を設立しました。

設立当初は、得意なことを生かして、交通模型の展示会やおもちゃクリニックなどを行っていました。現在は、会員も17人に増え、子ども食堂や学童保育、イベントへの参加など「否定しないこと、挑戦すること」を大切に、活動の幅を広げています。子どもたちが喜ぶ姿や遊びの発想からは、やりがいや感動、生きがいももらっています。

【今後の抱負】

もっとほかの団体と交流したいと考えているため、依頼やイベントの機会があれば、積極的に参加し、自分たちも楽しむことを忘れず、活動を続けていきたいです。



スコップ三味線めぐっこ

☎ 090 (4167) 1064

テレビでスコップ三味線を知り、青森のスコップ三味線の家元へ行ったことをきっかけに、平成28年に団体を設立しました。

スコップ三味線は、三味線に形が似ている角スコップを使い、音楽に合わせてスコップをバチで叩いたりこすったりして演奏します。

慰問活動やイベントでは、本物の三味線を弾いているかのような姿に、驚いたり喜んだりしてもらえるので、元気ややりがいももらっています。

【今後の抱負】

現在、会員が7人とあまり多くないので、会員を増やし、より迫力のある演奏ができればいいと思います。スコップ三味線は、楽譜が読めなくても演奏ができますので、活動に興味のある人はご連絡ください！



傾聴ボランティアグループ「ひまわり」

☎ 080 (5099) 9382

自分の思いを発散できる場所を作ったら一人一人に寄り添うことができると思い、平成23年に団体を設立しました。

介護や認知症について、語ったり相談したりできるケアカフェ「葉の花」の運営や依頼に応じて訪問する傾聴活動をしています。

「傾聴」とは、「相手の立場になって相手の気持ちに共感しながら聴くこと」であり、否定せず寄り添うことが重要で、難しさ・奥深さがあると感じます。

【今後の抱負】

「傾聴」という言葉が広まり、誰でも人に寄り添うことができるようになればいいと思います。言葉の意味や活動を知ってもらうため、模索しながら活動しています。

